



東京自動車教習所労働組合機関紙

発行者

東京自動車教習所労働組合

〒110-0003 東京都台東区根岸4-11-10

TEL 03-3871-6470 Fax 03-3871-6473

E-mail tdu@toujikyo.or.jp

URL <http://www.toujikyo.or.jp>

東自教第48回定期大会

交通安全教育の充実で生涯職場の発展を！



9月19日、東自教労組はとしま産業振興プラザに中央委員、代議員、オブ参加、を含め総勢86人が参加して第48回定期大会を開催しました。大会には来賓として日通労組の細川委員長が参加しました。

津田委員長は主催者挨拶で、2019年3月の全指連加盟会員（教習所・学校）は1256所・校でここ1年で10所・校が閉鎖しており、自教業界が危機的な状況に陥っていると考えていいちぶである。閉鎖の原因として、18歳人口の減少や激しい料金競争で経営者が経営意欲を無くしたとも考えられる。

今年、全指連が発行している「自動車学校」7月号に指定自動車教習所業界の働き方アクションプランが掲載されており、その中で2017年1月から3月までの合計時間外労働が240時間を超えている職員

が305所・校（26%）であったと報告されている。今後の法規制に抵触する労働であり、しっかりととした線引きを行わなければ教習生や指導員、社会に嫌われ閉鎖に追い込まれていくことになる。厳しい情勢にありますが時代に合った運動と高度な団結で仲間の生活改善に向け奮闘していこう。と述べました。



大会ではすべての審議事項、提案事項が満場一致で承認され、新役員選挙も満票で信任、大会発言も五人が力強い決意表明を行うなど大いに盛り上がり、成功裏に閉会しました。



大会発言をする谷合中央委員

大会発言要旨

労働運動で支部の幹部になると会社は引き抜き工作を行ってくる。そして幹部になると自分が偉くなったように錯覚をおこす人もいる。利口な人ほどなる可能性がある。

そのような中、私は職場で43年いるが津田委員長と二人三脚で労働運動を続けてきた。組合員を裏切ること無く、ここまでやってきたからこそ今日この壇上で話が出来ると思っている。

皆さんの職場の課長や管理者は、以前、俺等と一緒に運動をやってきた人ばかり。だから、支部で何かあって職場に俺が行くと管理者等は嫌がる。現任講習で目を背ける人もいる。

若いとき、組合の諸先輩方は「組合員のために生きてこそ人生に価値がある」「そういう人になってくれ」と言われた。

現在、表舞台から降りたが支部の生涯賃金制度の導入に携わり、今年は毎年7,600円の賃上げを確立させた。今後は60~65歳の月給制を実現させるため、毎日のように仲間が集まり学習会を行っている。来春では賃金をもっと引き上げ出来るよう頑張っていき、東自教を引っ張っていくつもりでやっている。頑張っている東自教の先輩がいると思っていただいてもらいたい。

ここにいる組合員は支部の要になる人ばかり。

その要の中の一部の人でも本気で労働運動を継承し、後輩につなげてくれる人がいれば支部は絶対に繁栄する。頑張ってほしい。

人のために生きるような人間になってもらいたい。

今年の秋闇も私は頑張っていきたい。



交流会の一場面